

平成25年10月1日  
関東森林管理局

## 東日本大震災の被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛について

公共工事の積算では、標準的な工事価格が算定できるよう実態調査を行い、その結果を反映した各種積算基準を整備しています。

岩手県、宮城県、福島県では、早期復興に向け大規模な復旧・復興事業が推進されており、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足で標準積算基準と施工実態との間で、乖離（日当り作業量の低下）が生じていることから、現場状況を反映した専用の積算基準を新たに策定し、平成25年10月1日以降に入札公告する工事から適用することとします。

### 1 適用歩掛（復興歩掛）

ダンプの不足及びセメントの供給不足等によって作業効率が悪化しているため、日当り作業量の低下を確認した工種について補正（日当り作業量を10%補正）を行います。

補正の対象となる歩掛は、次の①、②のとおり

①ダンプトラック運搬を行うためのバックホウによる土砂の掘削積込及びダンプトラックで運搬された土砂の敷均し締固めまでの一連の土工作业  
（土工作业のうち、ダンプトラック運搬以外の掘削積込、岩石工、床堀・埋戻し、ブルドーザによる掘削押土、クラムシェルによる掘削積込、人力によるもの、小規模土工は対象としない）

②コンクリート打設作業全般

（生コン工場から供給されるコンクリートの打設・締固・養生作業等の一連作業で、型枠工、コンクリート吹付作業は対象としない）

詳細については、別紙新旧対照表及び標準歩掛の制定項目一覧表のとおり

### 2 対象工事

福島県における関東森林管理局（森林管理署等含む。）が発注する森林土木工事（海岸防災林復旧工事を含む。）

**森林整備保全事業標準歩掛の制定について（平成11年4月1日付け11林野計第133号林野庁長官通知）  
一部改正新旧対照表**

被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛	現 行（森林整備保全事業標準歩掛）
<p>森林整備保全事業標準歩掛の留意事項</p> <p>1 } [略] 8 }</p> <p style="text-align: center;">森林整備保全事業標準歩掛</p> <p>第1編 共通工</p> <p>第1 土工 } [略] 第2 運搬工 }</p> <p>第3 コンクリート工</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 適用範囲 } [略] 3-1-3 材料の使用量 }</p> <p>3-1-4 無筋・鉄筋型構造物コンクリートポンプ車打設</p> <p>(1) 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車圧送コンクリートの範囲 } [略] (2) 機種の選定 }</p> <p>(3) 施工歩掛 1) 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。</p>	<p>森林整備保全事業標準歩掛の留意事項</p> <p>1 } [略] 8 }</p> <p style="text-align: center;">森林整備保全事業標準歩掛</p> <p>第1編 共通工</p> <p>第1 土工 } [略] 第2 運搬工 }</p> <p>第3 コンクリート工</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 適用範囲 } [略] 3-1-3 材料の使用量 }</p> <p>3-1-4 無筋・鉄筋型構造物コンクリートポンプ車打設</p> <p>(1) 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車圧送コンクリートの範囲 } [略] (2) 機種の選定 }</p> <p>(3) 施工歩掛 1) 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。</p>

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛  
(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量				
		30m <sup>3</sup> 未満	30m <sup>3</sup> 以上 50m <sup>3</sup> 未満	50m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	100m <sup>3</sup> 以上 300m <sup>3</sup> 未満	300m <sup>3</sup> 以上 600m <sup>3</sup> 未満
		標 準 日 打 設 量				
		<u>14</u>	<u>36</u>	<u>63</u>	<u>144</u>	<u>333</u>
世 話 役	人	<u>0.24</u>	<u>0.17</u>	<u>0.12</u>	<u>0.08</u>	0.04
特 殊 作 業 員	〃	<u>0.50</u>	<u>0.47</u>	<u>0.40</u>	<u>0.31</u>	<u>0.30</u>
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>1.02</u>	<u>0.71</u>	<u>0.52</u>	<u>0.34</u>	<u>0.22</u>
コンクリートポンプ車運転	h	<u>1.43</u>	<u>1.02</u>	<u>0.76</u>	<u>0.48</u>	<u>0.28</u>
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1	1

備考 [略]

- 2) 橋梁床版コンクリートポンプ車打設  
橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。

橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛  
(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量			
		50m <sup>3</sup> 未満	50m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	100m <sup>3</sup> 以上 300m <sup>3</sup> 未満	300m <sup>3</sup> 以上 600m <sup>3</sup> 未満
		標 準 日 打 設 量			
		<u>36</u>	<u>63</u>	<u>144</u>	<u>333</u>
世 話 役	人	<u>0.17</u>	<u>0.12</u>	<u>0.08</u>	0.04
特 殊 作 業 員	〃	<u>0.47</u>	<u>0.40</u>	<u>0.31</u>	<u>0.30</u>
普 通 作 業 員	〃	<u>0.71</u>	<u>0.52</u>	<u>0.34</u>	<u>0.22</u>
コンクリートポンプ車運転	h	<u>1.23</u>	<u>0.86</u>	<u>0.70</u>	
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1

備考 [略]

- 3) 圧送管・組立・撤去歩掛 [略]

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛  
(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量				
		30m <sup>3</sup> 未満	30m <sup>3</sup> 以上 50m <sup>3</sup> 未満	50m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	100m <sup>3</sup> 以上 300m <sup>3</sup> 未満	300m <sup>3</sup> 以上 600m <sup>3</sup> 未満
		標 準 日 打 設 量				
		<u>15</u>	<u>40</u>	<u>70</u>	<u>160</u>	<u>370</u>
世 話 役	人	<u>0.22</u>	<u>0.15</u>	<u>0.11</u>	<u>0.07</u>	0.04
特 殊 作 業 員	〃	<u>0.45</u>	<u>0.42</u>	<u>0.36</u>	<u>0.28</u>	<u>0.27</u>
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>0.92</u>	<u>0.64</u>	<u>0.47</u>	<u>0.31</u>	<u>0.20</u>
コンクリートポンプ車運転	h	<u>1.29</u>	<u>0.92</u>	<u>0.68</u>	<u>0.43</u>	<u>0.25</u>
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1	1

備考 [略]

- 2) 橋梁床版コンクリートポンプ車打設  
橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。

橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛  
(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量			
		50m <sup>3</sup> 未満	50m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	100m <sup>3</sup> 以上 300m <sup>3</sup> 未満	300m <sup>3</sup> 以上 600m <sup>3</sup> 未満
		標 準 日 打 設 量			
		<u>40</u>	<u>70</u>	<u>160</u>	<u>370</u>
世 話 役	人	<u>0.15</u>	<u>0.11</u>	<u>0.07</u>	0.04
特 殊 作 業 員	〃	<u>0.42</u>	<u>0.36</u>	<u>0.28</u>	<u>0.27</u>
普 通 作 業 員	〃	<u>0.64</u>	<u>0.47</u>	<u>0.31</u>	<u>0.20</u>
コンクリートポンプ車運転	h	<u>1.11</u>	<u>0.77</u>	<u>0.63</u>	
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1

備考 [略]

- 3) 圧送管・組立・撤去歩掛 [略]

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

3-1-5 無筋・鉄筋構造物人力打設  
無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛は、次表とする。

無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	<u>0.63</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>0.88</u>
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>1.39</u>
諸 雑 費 率	%	7

備考 [略]

3-1-6 小型構造物クレーン車打設

(1) 機種を選定 [略]

(2) 施工歩掛

小型構造物クレーン車打設歩掛は、次表とする。

小型構造物クレーン車打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	<u>1.00</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>1.13</u>
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>3.61</u>
トラッククレーン又は クローラクレーン運転	日	<u>0.62</u>
諸 雑 費 率	%	4

備考 [略]

3-1-7 小型構造物人力打設

小型構造物人力打設歩掛は、次表とする。

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

3-1-5 無筋・鉄筋構造物人力打設  
無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛は、次表とする。

無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	<u>0.57</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>0.79</u>
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>1.25</u>
諸 雑 費 率	%	7

備考 [略]

3-1-6 小型構造物クレーン車打設

(1) 機種を選定 [略]

(2) 施工歩掛

小型構造物クレーン車打設歩掛は、次表とする。

小型構造物クレーン車打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	<u>0.90</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>1.02</u>
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>3.25</u>
トラッククレーン又は クローラクレーン運転	日	<u>0.56</u>
諸 雑 費 率	%	4

備考 [略]

3-1-7 小型構造物人力打設

小型構造物人力打設歩掛は、次表とする。

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 小型構造物人力打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	<u>1.01</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>1.11</u>
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	( 〃 )	<u>2.94</u>
諸 雑 費 率	%	4

備考 [略]

## 3-1-8 養生工

## (1) 一般養生工

一般養生における歩掛は、次表とする。

## 養生歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	人 ( 〃 )	<u>0.33</u>	<u>0.18</u>	<u>0.77</u>
諸 雑 費 率	%	17	33	19

備考 [略]

## 3-1-9 養生工 (特殊養生)

## (1) 適用範囲 [略]

## (2) 特殊養生工

## 1) 特殊養生工 (練炭養生)

練炭による特殊養生歩掛は、次表とする。

## 特殊養生歩掛 (練炭養生)

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	人 ( 〃 )	<u>0.98</u>	<u>0.60</u>	<u>1.73</u>
諸 雑 費 率	%	25	25	32

備考 [略]

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## 小型構造物人力打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	<u>0.91</u>
特 殊 作 業 員	〃	<u>1.00</u>
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	( 〃 )	<u>2.65</u>
諸 雑 費 率	%	4

備考 [略]

## 3-1-8 養生工

## (1) 一般養生工

一般養生における歩掛は、次表とする。

## 養生歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	人 ( 〃 )	<u>0.30</u>	<u>0.16</u>	<u>0.69</u>
諸 雑 費 率	%	17	33	19

備考 [略]

## 3-1-9 養生工 (特殊養生)

## (1) 適用範囲 [略]

## (2) 特殊養生工

## 1) 特殊養生工 (練炭養生)

練炭による特殊養生歩掛は、次表とする。

## 特殊養生歩掛 (練炭養生)

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	人 ( 〃 )	<u>0.88</u>	<u>0.54</u>	<u>1.56</u>
諸 雑 費 率	%	25	25	32

備考 [略]

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 2) 特殊養生工 (ジェットヒータ養生)

ア 機種を選定 [略]

イ 施工歩掛

ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛 (ジェットヒータ養生)

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	人 (人)	<u>0.82</u>	<u>0.48</u>	<u>2.67</u>
ジェットヒータ運転	h	<u>33.33</u>	<u>31.11</u>	<u>174.44</u>
諸 雑 費 率	%	13	28	33

備考 [略]

ウ 運転時間 [略]

3-1-10 単価表 [略]

3-2 型枠工	} [略]
3-4 鉄筋工	

## 第4 共通工(1) (溝渠工・法枠工等)

## 4-1 溝渠工 (水路工)

4-1-1 適用範囲	} [略]
4-1-5 L型側溝	

## 4-1-6 ヒューム管

(1) ヒューム管 [略]

(2) ヒューム管用巻きコンクリート

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛は次表とする。

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## 2) 特殊養生工 (ジェットヒータ養生)

ア 機種を選定 [略]

イ 施工歩掛

ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛 (ジェットヒータ養生)

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	人 (人)	<u>0.74</u>	<u>0.43</u>	<u>2.40</u>
ジェットヒータ運転	h	<u>30</u>	<u>28</u>	<u>157</u>
諸 雑 費 率	%	13	28	33

備考 [略]

ウ 運転時間 [略]

3-1-10 単価表 [略]

3-2 型枠工	} [略]
3-4 鉄筋工	

## 第4 共通工(1) (溝渠工・法枠工等)

## 4-1 溝渠工 (水路工)

4-1-1 適用範囲	} [略]
4-1-5 L型側溝	

## 4-1-6 ヒューム管

(1) ヒューム管 [略]

(2) ヒューム管用巻きコンクリート

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛は次表とする。

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

管 径 (mm)		150	200	250	400	450	700	800	1,100
名 称			300	350	500	600	900	1,000	1,200
単 位									1,350
世 話 役	人	3.10	2.70		2.20		1.80		1.66
特 殊 作 業 員	〃	1.11	1.11		1.11		1.11		1.09
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	10.27	9.17		7.67		6.27		5.77
型 枠 工	〃	8.0	6.7		4.8		3.5		2.8
コ ン ク リ ー ト	m <sup>3</sup>	10.6							
基 礎 砕 石 費 率	90° 巻 き	%	40	36	27		24		22
	180° 巻 き	〃	27	24	19		16		15
	360° 巻 き	〃	13	13	10		9		—
諸 雑 費 率	〃	12							

備考 [略]

4-1-7 ボックスカルバート } [略]  
 4-1-14 単価表 }

## 4-2 法枠工

4-2-1 留意事項 } [略]  
 4-2-2 プレキャスト法枠工 }

## 4-2-3 現場打法枠工

(1) 適用範囲 } [略]  
 (4) 機種の選定 }

(5) コンクリート投入打設  
 1) 人力打設 [略]

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

管 径 (mm)		150	200	250	400	450	700	800	1,100
名 称			300	350	500	600	900	1,000	1,200
単 位									1,350
世 話 役	人	3.0	2.6		2.1		1.7		1.6
特 殊 作 業 員	〃	1.0	1.0		1.0		1.0		1.0
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	9.9	8.8		7.3		5.9		5.6
型 枠 工	〃	8.0	6.7		4.8		3.5		2.8
コ ン ク リ ー ト	m <sup>3</sup>	10.6							
基 礎 砕 石 費 率	90° 巻 き	%	40	36	27		24		22
	180° 巻 き	〃	27	24	19		16		15
	360° 巻 き	〃	13	13	10		9		—
諸 雑 費 率	〃	12							

備考 [略]

4-1-7 ボックスカルバート } [略]  
 4-1-14 単価表 }

## 4-2 法枠工

4-2-1 留意事項 } [略]  
 4-2-2 プレキャスト法枠工 }

## 4-2-3 現場打法枠工

(1) 適用範囲 } [略]  
 (4) 機種の選定 }

(5) コンクリート投入打設  
 1) 人力打設 [略]

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

- 2) コンクリートポンプ車打設  
 コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛  
 (100m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	4.22
特 殊 作 業 員	〃	9.78
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	〃 ( 〃 )	15.44
コンクリートポンプ車運転	h	25.22
諸 雑 費 率	%	2

備考 [略]

- (6) アンカー工 } [略]  
 (11) 足場工 }

(12) 単価表

- 1) コンクリートポンプ車打設100m<sup>3</sup>当たり単価表 [略]

2) 圧送管組立、撤去10m<sup>3</sup>当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )		人 ( 〃 )	0.46×L/6.5	
計				

備考 [略]

- 3) アンカー設置工10本当たり単価表 } [略]  
 5) 機械運転単価表 }
- 4-2-4 簡易法枠工 } [略]  
 4-2-6 現場吹付法枠工 }
- 4-3 モルタル・コンクリート吹付工 } [略]  
 4-8 (参考歩掛) 斜面安定工 }

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

- 2) コンクリートポンプ車打設  
 コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛  
 (100m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	3.8
特 殊 作 業 員	〃	8.8
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )	〃 ( 〃 )	13.9
コンクリートポンプ車運転	h	22.7
諸 雑 費 率	%	2

備考 [略]

- (6) アンカー工 } [略]  
 (11) 足場工 }

(12) 単価表

- 1) コンクリートポンプ車打設100m<sup>3</sup>当たり単価表 [略]

2) 圧送管組立、撤去10m<sup>3</sup>当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
山 林 砂 防 工 ( 普 通 作 業 員 )		人 ( 〃 )	0.46×L/7.2	
計				

備考 [略]

- 3) アンカー設置工10本当たり単価表 } [略]  
 5) 機械運転単価表 }
- 4-2-4 簡易法枠工 } [略]  
 4-2-6 現場吹付法枠工 }
- 4-3 モルタル・コンクリート吹付工 } [略]  
 4-8 (参考歩掛) 斜面安定工 }

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 現 行（森林整備保全事業標準歩掛）

## 第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)

5-1 石材及び骨材の分類〔参考〕 } [略]  
 5-3 骨材等採取及び洗浄歩掛 }

## 5-4 石、巨石、コンクリートブロック積(張)工

## 5-4-1 石積(張)工

## (1) 適用範囲

## (2) 施工歩掛

- 1) 積工、張工歩掛 [略]  
 2) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

積 張 の 区 分			積 工	張 工
投 入 材	名 称	単 位		
胴込・裏込 コンクリート	特殊作業員	人	<u>1.44</u>	<u>1.67</u>
	山林砂防工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>2.0</u>	<u>2.11</u>
諸 雑 費 率			12	6

備考 [略]

## 3) 裏込材(クラッシュラン)投入歩掛 [略]

(3) トラックレーンの作業範囲 } [略]  
 (5) 単価表 }

## 5-4-2 巨石積(張)工 [略]

## 5-4-3 コンクリートブロック積(張)工

## (1) コンクリートブロック積工

- 1) 適用範囲 } [略]  
 2) 施工概要 }

## 第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)

5-1 石材及び骨材の分類〔参考〕 } [略]  
 5-3 骨材等採取及び洗浄歩掛 }

## 5-4 石、巨石、コンクリートブロック積(張)工

## 5-4-1 石積(張)工

## (1) 適用範囲

## (2) 施工歩掛

- 1) 積工、張工歩掛 [略]  
 2) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

積 張 の 区 分			積 工	張 工
投 入 材	名 称	単 位		
胴込・裏込 コンクリート	特殊作業員	人	<u>1.3</u>	<u>1.5</u>
	山林砂防工 (普通作業員)	〃 (〃)	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>
諸 雑 費 率			12	6

備考 [略]

## 3) 裏込材(クラッシュラン)投入歩掛 [略]

(3) トラックレーンの作業範囲 } [略]  
 (5) 単価表 }

## 5-4-2 巨石積(張)工 [略]

## 5-4-3 コンクリートブロック積(張)工

## (1) コンクリートブロック積工

- 1) 適用範囲 } [略]  
 2) 施工概要 }

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック積工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

投入材	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類
				間知ブロック
胴込・裏込 コンクリート	特 殊 作 業 員		人	1.44
	山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	2.00 [2.78]
諸 雑 費 率			%	6

備考 [略]

イ) 胴込・裏込材投入歩掛

ウ) 吸出防止材(全面)設置歩掛

[略]

ウ 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工

ア) 打設工法の選定 [略]

イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世 話 役		人	2.08	1.37	1.97	1.48
特 殊 作 業 員		〃	2.11	1.89	1.67	2.11
型 枠 工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	7.20	5.89	6.87	5.09
トラッククレーン運転 16t吊	油圧伸縮ジブ型	日	—	—	0.89	0.56
諸 雑 費 率		%	11	10	10	10

備考 [略]

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## 3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック積工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

投入材	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類
				間知ブロック
胴込・裏込 コンクリート	特 殊 作 業 員		人	1.3
	山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.8 [2.5]
諸 雑 費 率			%	6

備考 [略]

イ) 胴込・裏込材投入歩掛

ウ) 吸出防止材(全面)設置歩掛

[略]

ウ 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工

ア) 打設工法の選定 [略]

イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世 話 役		人	2.0	1.3	1.9	1.4
特 殊 作 業 員		〃	1.9	1.7	1.5	1.9
型 枠 工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	6.9	5.6	6.6	4.8
トラッククレーン運転 16t吊	油圧伸縮ジブ型	日	—	—	0.8	0.5
諸 雑 費 率		%	11	10	10	10

備考 [略]

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

エ トラッククレーン  
オ 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量 } [略]

4) 単価表 [略]

(2) コンクリートブロック張工

1) 適用範囲 }  
2) 施工概要 } [略]

3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック張工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛  
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

投入材	名称	規格	単位	数量
胴込・裏込 コンクリート	特殊作業員		人	1.33
	山林砂防工 (普通作業員)		" (")	2.56
諸雑費率			%	10

備考 [略]

イ) 胴込・裏込材投入歩掛 }  
エ) 吸出防止材(全面)設置歩掛 } [略]

ウ 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工

ア) 打設工法の選定 [略]

イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛  
現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

エ トラッククレーン  
オ 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量 } [略]

4) 単価表 [略]

(2) コンクリートブロック張工

1) 適用範囲 }  
2) 施工概要 } [略]

3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック張工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛  
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

投入材	名称	規格	単位	数量
胴込・裏込 コンクリート	特殊作業員		人	1.2
	山林砂防工 (普通作業員)		" (")	2.3
諸雑費率			%	10

備考 [略]

イ) 胴込・裏込材投入歩掛 }  
エ) 吸出防止材(全面)設置歩掛 } [略]

ウ 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工

ア) 打設工法の選定 [略]

イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛  
現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛  
(10㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世 話 役		人	2.08	1.37	1.97	1.48
特 殊 作 業 員		〃	2.11	1.89	1.67	2.11
型 枠 工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	7.20	5.89	6.87	5.09
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型油圧 伸縮ジブ型25 t吊	日	—	—	0.89	0.56
諸 雑 費 率		%	11	10	10	10

備考 [略]

エ ラフテレーンクレーン  
オ 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量 } [略]

カ コンクリートブロック張総合歩掛  
遮水・止水シート使用によるコンクリートブロック張の一連施工歩掛は、次表とする。なお、裏込材厚は、間知ブロックの場合は10～30cmに、平ブロックの場合は15～25cmに適用する。

コンクリートブロック張工歩掛  
(10㎡当たり)

ブロック 質 量	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類		
				間知ブロック	平ブロック	連節ブロック
150kg/個 未 満	世 話 役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.2	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	0.63	0.2	0.1
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.26	0.7	0.7
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t吊	日	0.3	0.2	0.2
	諸 雑 費 率		%	6	4(19)	5

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛  
(10㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世 話 役		人	2.0	1.3	1.9	1.4
特 殊 作 業 員		〃	1.9	1.7	1.5	1.9
型 枠 工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	6.9	5.6	6.6	4.8
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型油圧 伸縮ジブ型25 t吊	日	—	—	0.8	0.5
諸 雑 費 率		%	11	10	10	10

備考 [略]

エ ラフテレーンクレーン  
オ 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量 } [略]

カ コンクリートブロック張総合歩掛  
遮水・止水シート使用によるコンクリートブロック張の一連施工歩掛は、次表とする。なお、裏込材厚は、間知ブロックの場合は10～30cmに、平ブロックの場合は15～25cmに適用する。

コンクリートブロック張工歩掛  
(10㎡当たり)

ブロック 質 量	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類		
				間知ブロック	平ブロック	連節ブロック
150kg/個 未 満	世 話 役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.2	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	0.6	0.2	0.1
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.2	0.7	0.7
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t吊	日	0.3	0.2	0.2
	諸 雑 費 率		%	6	4(19)	5

被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

150kg/個 以上	世話役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.3	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	<u>0.53</u>	0.2	0.2
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	<u>1.26</u>	0.5	0.5
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.2	0.1	0.2
諸雑費率		%		6	5(22)	6

備考 [略]

4) 単価表 [略]

5-5 基礎・裏込工 } [略]  
5-21 (参考歩掛) 目地・止水板設置工 }

第6 杭打工及び矢板打工 } [略]  
第9 市場単価 }

現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

150kg/個 以上	世話役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.3	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	<u>0.5</u>	0.2	0.2
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	<u>1.2</u>	0.5	0.5
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	0.2	0.1	0.2
諸雑費率		%		6	5(22)	6

備考 [略]

4) 単価表 [略]

5-5 基礎・裏込工 } [略]  
5-21 (参考歩掛) 目地・止水板設置工 }

第6 杭打工及び矢板打工 } [略]  
第9 市場単価 }

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## 第2編 治山

## 第1 山地治山土工

## 1-1 機械土工

- 1-1-1 適用基準 } [略]  
 1-1-3 掘削法及び機種を選定 (土砂) }

## 1-1-4 機械別土工歩掛

(1) ブルドーザ歩掛 [略]

## (2) ショベル系掘削機歩掛

- 1) 1時間当たり土工量 (VS) } [略]  
 2) 1サイクル当たりの掘削積込量 (q) }

## 3) 1サイクルの所要時間 (Cm)

## イ 掘削積込

(sec)

機種	旋回角度			
	45°	90°	135°	180°
バックホウ	31.1	33.3	35.6	38.9
クラムシエル	33	36	39	42

備考 1 } [略]  
2 }

3 工事規模において「小規模等」は、除く。

## イ 掘削積込 (小規模等)、床堀

(sec)

機種	旋回角度			
	45°	90°	135°	180°
バックホウ	28	30	32	35
クラムシエル	33	36	39	42

備考 1 バックホウについては、掘削は90°、掘削積込は180° 旋回を標準とする。

2 クラムシエルの旋回角度は90° を標準とする。

- 4) 作業効率 (E) } [略]  
 5) ショベル系掘削機械運転歩掛 }

## 第2編 治山

## 第1 山地治山土工

## 1-1 機械土工

- 1-1-1 適用基準 } [略]  
 1-1-3 掘削法及び機種を選定 (土砂) }

## 1-1-4 機械別土工歩掛

(1) ブルドーザ歩掛 [略]

## (2) ショベル系掘削機歩掛

- 1) 1時間当たり土工量 (VS) } [略]  
 2) 1サイクル当たりの掘削積込量 (q) }

## 3) 1サイクルの所要時間 (Cm)

(sec)

機種	旋回角度			
	45°	90°	135°	180°
バックホウ	28	30	32	35
クラムシエル	33	36	39	42

備考 1 } [略]  
2 }

- 4) 作業効率 (E) } [略]  
 5) ショベル系掘削機械運転歩掛 }

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

1-1-5 片切掘削（人力併用機械掘削） [略]

1-2 岩石工	} [略]
1-4 岩盤清掃歩掛	

## 第2 治山ダム工

2-1 コンクリート工

2-1-1 適用範囲	} [略]
2-1-4 人力投入打設歩掛	

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛

(1) 機種の選定 [略]

(2) 作業能力

コンクリートポンプ車打設の標準打設機械の作業歩掛は、次表を標準とする。

条 件	設計日打設量 (m <sup>3</sup> )				
	30未満	30以上 45未満	45以上 60未満	60以上 100未満	100以上
標準日打設量 (m <sup>3</sup> /日)	22.5	31.5	45	67.5	117
標準時間当たり 打設量 (m <sup>3</sup> /h)	9.0	12.6	14.4	18.0	22.5
	7.2	9.9	10.8	12.6	18.0

備考 [略]

(3) 打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

区 分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.22	0.33
	鉄筋 "	0.22	0.56
打設 (B)	無筋構造物	0.33	0.67
	鉄筋 "	0.33	0.89

備考 [略]

(4) 圧送管組立・撤去歩掛	} [略]
(5) 単価表	

## 現 行（森林整備保全事業標準歩掛）

1-1-5 片切掘削（人力併用機械掘削） [略]

1-2 岩石工	} [略]
1-4 岩盤清掃歩掛	

## 第2 治山ダム工

2-1 コンクリート工

2-1-1 適用範囲	} [略]
2-1-4 人力投入打設歩掛	

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛

(1) 機種の選定 [略]

(2) 作業能力

コンクリートポンプ車打設の標準打設機械の作業歩掛は、次表を標準とする。

条 件	設計日打設量 (m <sup>3</sup> )				
	30未満	30以上 45未満	45以上 60未満	60以上 100未満	100以上
標準日打設量 (m <sup>3</sup> /日)	25	35	50	75	130
標準時間当たり 打設量 (m <sup>3</sup> /h)	10.0	14.0	16.0	20.0	25.0
	8.0	11.0	12.0	14.0	20.0

備考 [略]

(3) 打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当たり)

区 分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.2	0.3
	鉄筋 "	0.2	0.5
打設 (B)	無筋構造物	0.3	0.6
	鉄筋 "	0.3	0.8

備考 [略]

(4) 圧送管組立・撤去歩掛	} [略]
(5) 単価表	

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛  
(1) 投入打設歩掛クレーン車打設歩掛  
(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
世 話 役	人	0.22	0.22	0.89
特 殊 作 業 員	〃	0.67	0.89	2.78
山 林 砂 防 工	〃	0.78	1.00	3.67
トラッククレーン 運 転 日 数 又 は クローラクレーン	日	0.22	0.30	0.93
運 転 時 間	h	1.56	2.11	6.11
諸 雑 費 率	%	2	2	2

備考 [略]

## (2) 投入打設単価表 [略]

2-1-7 コンクリート養生 } [略]  
2-1-8 型枠工 }

2-2 打継面処理(チップング)歩掛 } [略]  
2-8 (参考歩掛)現場混合コンクリート }

第3 山腹工 } [略]  
第5 森林整備 }

## 第6 海岸林造成

6-1 (参考歩掛)生育基盤盛土工 } [略]  
6-2 海岸植栽 }

## 6-3 コンクリート根固ブロック工

6-3-1 適用範囲と施工概要 } [略]  
6-3-2 製作 }

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛  
(1) 投入打設歩掛クレーン車打設歩掛  
(10m<sup>3</sup>当たり)

名 称	単位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
世 話 役	人	0.2	0.2	0.8
特 殊 作 業 員	〃	0.6	0.8	2.5
山 林 砂 防 工	〃	0.7	0.9	3.3
トラッククレーン 運 転 日 数 又 は クローラクレーン	日	0.20	0.27	0.79
運 転 時 間	h	1.4	1.9	5.5
諸 雑 費 率	%	2	2	2

備考 [略]

## (2) 投入打設単価表 [略]

2-1-7 コンクリート養生 } [略]  
2-1-8 型枠工 }

2-2 打継面処理(チップング)歩掛 } [略]  
2-8 (参考歩掛)現場混合コンクリート }

第3 山腹工 } [略]  
第5 森林整備 }

## 第6 海岸林造成

6-1 (参考歩掛)生育基盤盛土工 } [略]  
6-2 海岸植栽 }

## 6-3 コンクリート根固ブロック工

6-3-1 適用範囲と施工概要 } [略]  
6-3-2 製作 }

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 6-3-3 コンクリート工

(1) コンクリート投入打設方法 [略]

(2) コンクリート投入打設歩掛  
コンクリート打設歩掛及びクレーンの運転時間は次表とする。

## コンクリート投入打設歩掛

(100m<sup>3</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	ブロック実質量		
			2.5t以下	2.5tを超え 5.5t以下	5.5tを超え 11.0t以下
世 話 役		人	<u>1.78</u>	<u>1.78</u>	<u>1.78</u>
特殊作業員		〃	<u>3.22</u>	<u>3.22</u>	<u>3.22</u>
普通作業員		〃	<u>3.56</u>	<u>3.56</u>	<u>3.56</u>
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	<u>2.56</u>	<u>2.00</u>	<u>1.89</u>

備考 [略]

(3) 養生工

養生工の歩掛は、次表とする。なお、給熱養生の場合は別途考慮する。

## 一般養生工歩掛

(100m<sup>2</sup>当たり)

名 称	単 位	ブロック実質量		
		2.5t以下	2.5tを超え5.5t以下	5.5tを超え11.0t以下
普通作業員	人	<u>1.78</u>	<u>1.78</u>	<u>1.44</u>

備考 [略]

(4) 材料の使用量 [略]

6-3-4 諸雑費	} [略]
6-3-7 単価表	

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## 6-3-3 コンクリート工

(1) コンクリート投入打設方法 [略]

(2) コンクリート投入打設歩掛  
コンクリート打設歩掛及びクレーンの運転時間は次表とする。

## コンクリート投入打設歩掛

(100m<sup>3</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	ブロック実質量		
			2.5t以下	2.5tを超え 5.5t以下	5.5tを超え 11.0t以下
世 話 役		人	<u>1.6</u>	<u>1.6</u>	<u>1.6</u>
特殊作業員		〃	<u>2.9</u>	<u>2.9</u>	<u>2.9</u>
普通作業員		〃	<u>3.2</u>	<u>3.2</u>	<u>3.2</u>
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	<u>2.3</u>	<u>1.8</u>	<u>1.7</u>

備考 [略]

(3) 養生工

養生工の歩掛は、次表とする。なお、給熱養生の場合は別途考慮する。

## 一般養生工歩掛

(100m<sup>2</sup>当たり)

名 称	単 位	ブロック実質量		
		2.5t以下	2.5tを超え5.5t以下	5.5tを超え11.0t以下
普通作業員	人	<u>1.6</u>	<u>1.6</u>	<u>1.3</u>

備考 [略]

(4) 材料の使用量 [略]

6-3-4 諸雑費	} [略]
6-3-7 単価表	

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 現 行（森林整備保全事業標準歩掛）

## 第3編 林 道

## 第1 道路土工

1-1 盛土の分類 [略]

1-2 機械掘削及び積込

(1) 土工方式の区分 } [略]  
(2) 岩 石 }

(3) 土石

1) 機種の選定 [略]

2) 施工歩掛

ア ブルドーザ [略]

イ バックホウ

(ア) 1時間当たり土工量の算定式は、次のとおりとする。 } [略]  
(イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)

(ウ) 1サイクルの所要時間 (Cm)

ア) 掘削積込

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	31.1	33.3	35.6	38.9

備考 [略]

イ) 床堀

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	28	30	32	35

備考 通常の積算では、掘削は90°、掘削積込は180° 旋回を標準とする。

(エ) 作業効率 (E) } [略]  
(オ) バックホウ運転単価表 }

## 第3編 林 道

## 第1 道路土工

1-1 盛土の分類 [略]

1-2 機械掘削及び積込

(1) 土工方式の区分 } [略]  
(2) 岩 石 }

(3) 土石

1) 機種の選定 [略]

2) 施工歩掛

ア ブルドーザ [略]

イ バックホウ

(ア) 1時間当たり土工量の算定式は、次のとおりとする。 } [略]  
(イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)

(ウ) 1サイクルの所要時間 (Cm)

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	28	30	32	35

備考 [略]

(エ) 作業効率 (E) } [略]  
(オ) バックホウ運転単価表 }

被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

- リ ローダ  
 (ア) 1時間当たり土工量の算定方式は、次のとおりとする。 } [略]  
 (イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)  
 (ウ) 1サイクルの所要時間  
 土質にかかわらず (クローラローダ)・・・Cm = 51sec  
 (ホイールローダ)・・・Cm = 44sec  
 (エ)  $Cm = \frac{(mL + t_1 + t_2)}{0.9}$   
 [以下、略]  
 (オ) 作業効率 (E) } [略]  
 (キ) ロード運転単価表 } [略]

エ 片切掘削 (人力併用機械掘削) [略]

1-3 盛土

1-3-1 機械盛土

(1) 機種の選定 [略]

(2) 機種別の作業量

工種	区分	標準機種		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m <sup>3</sup> /h)	A (m <sup>2</sup> )
		機械名	規格							
敷ならし	路体	ブルドーザ	11t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>61</u>	-
			15t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>70</u>	-
	路床	21t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>99</u>	-	
締固め	路体	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>79</u>	<u>265</u>
			15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>91</u>	<u>302</u>
			21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>128</u>	<u>425</u>
	路床	ブルドーザ	15t級	3,500	0.8	0.2	7	0.6	<u>43</u>	<u>216</u>
			21t級	3,500	0.9	0.2	6	0.6	<u>57</u>	<u>284</u>
			タイヤローラ	8~20t	3,500	1.8	0.2	7	0.4	<u>65</u>

- 備考 1 [略]  
 2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。  
 11t級ブルドーザの場合  
 $Q = 0.9 \times 10E (11D + 8) (m^3/h)$   
 15t級ブルドーザの場合  
 $Q = 0.9 \times 10E (13D + 9) (m^3/h)$   
 21t級ブルドーザの場合  
 $Q = 0.9 \times 10E (18D + 13) (m^3/h)$

現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

- リ ローダ  
 (ア) 1時間当たり土工量の算定方式は、次のとおりとする。 } [略]  
 (イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)  
 (ウ) 1サイクルの所要時間  
 土質にかかわらず (クローラローダ)・・・Cm = 46sec  
 (ホイールローダ)・・・Cm = 40sec  
 (エ)  $Cm = mL + t_1 + t_2$   
 [以下、略]  
 (オ) 作業効率 (E) } [略]  
 (キ) ロード運転単価表 } [略]

エ 片切掘削 (人力併用機械掘削) [略]

1-3 盛土

1-3-1 機械盛土

(1) 機種の選定 [略]

(2) 機種別の作業量

工種	区分	標準機種		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m <sup>3</sup> /h)	A (m <sup>2</sup> )
		機械名	規格							
敷ならし	路体	ブルドーザ	11t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>68</u>	-
			15t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>77</u>	-
	路床	21t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>110</u>	-	
締固め	路体	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>88</u>	<u>294</u>
			15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>101</u>	<u>336</u>
			21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>142</u>	<u>473</u>
	路床	ブルドーザ	15t級	3,500	0.8	0.2	7	0.6	<u>48</u>	<u>240</u>
			21t級	3,500	0.9	0.2	6	0.6	<u>63</u>	<u>315</u>
			タイヤローラ	8~20t	3,500	1.8	0.2	7	0.4	<u>72</u>

- 備考 1 [略]  
 2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。  
 11t級ブルドーザの場合  
 $Q = 10E (11D + 8) (m^3/h)$   
 15t級ブルドーザの場合  
 $Q = 10E (13D + 9) (m^3/h)$   
 21t級ブルドーザの場合  
 $Q = 10E (18D + 13) (m^3/h)$

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

ここで

- Q : 1時間当たり敷均し土量 (m<sup>3</sup>/h)  
 締固め後の状態の土量をいう。  
 D : 仕上がり厚さ (m)  
 締固め後の状態の厚さをいう。  
 E : 作業効率 [表、略]

- 3 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する。  
 (人/100m<sup>3</sup>)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤 路体	0.22
	路床	0.33

- 4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。  
 作業量を締固め土量 (m<sup>3</sup>/h) で表す場合

$$Q = 0.9 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \quad (\text{m}^3/\text{h})$$

作業量を締固め面積 (m<sup>2</sup>/h) で表す場合

$$A = 0.9 \times \frac{V \times W \times E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

ここで

- Q : 運転1時間当たり作業量 (m<sup>3</sup>/h)  
 A : " 作業面積 (m<sup>2</sup>/h)  
 V : 締固め速度 (m/h)  
 W : 1回の有効締固め幅 (m)  
 D : 仕上り厚さ } 次表、仕上がり厚さと締固め回数による。  
 N : 締固め回数 }  
 [表、略]

- 5 ブルドーザで敷ならし作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

[式、略]

機械補助労務

(人/100m<sup>3</sup>)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤 路体	0.22
	路床	0.33

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

ここで

- Q : 1時間当たり敷均し土量 (m<sup>3</sup>/h)  
 締固め後の状態の土量をいう。  
 D : 仕上がり厚さ (m)  
 締固め後の状態の厚さをいう。  
 E : 作業効率 [表、略]

- 3 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する。  
 (人/100m<sup>3</sup>)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤 路体	0.2
	路床	0.3

- 4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。  
 作業量を締固め土量 (m<sup>3</sup>/h) で表す場合

$$Q = \frac{V \times W \times D \times E}{N} \quad (\text{m}^3/\text{h})$$

作業量を締固め面積 (m<sup>2</sup>/h) で表す場合

$$A = \frac{V \times W \times E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

ここで

- Q : 運転1時間当たり作業量 (m<sup>3</sup>/h)  
 A : " 作業面積 (m<sup>2</sup>/h)  
 V : 締固め速度 (m/h)  
 W : 1回の有効締固め幅 (m)  
 D : 仕上り厚さ } 次表、仕上がり厚さと締固め回数による。  
 N : 締固め回数 }  
 [表、略]

- 5 ブルドーザで敷ならし作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

[式、略]

機械補助労務

(人/100m<sup>3</sup>)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤 路体	0.2
	路床	0.3

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量 (m<sup>3</sup>/h)

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	
敷均し締固め合成作業	34	40	56	

1-3-2 標準機械では困難な場合の機械盛土

(1) 機種を選定 [略]

(2) 日当たり作業量

各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

敷均し作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型 普通3t級	m <sup>3</sup>	117

備考 1 敷均し作業の仕上がり厚さは0.2~0.3mとする。

締固め作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	締固め度 期待値	機械名	規格	単位	数量
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	m <sup>3</sup>	90
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50
	路体・ 築堤並	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	〃	108
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63

(3) 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

機械補助労務

(100m<sup>3</sup>当たり)

名称	単位	労務
普通作業員	人	0.33

(4) 単価表 [略]

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量 (m<sup>3</sup>/h)

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	
敷均し締固め合成作業	38	44	62	

1-3-2 標準機械では困難な場合の機械盛土

(1) 機種を選定 [略]

(2) 日当たり作業量

各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

敷均し作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型 普通3t級	m <sup>3</sup>	130

備考 1 敷均し作業の仕上がり厚さは0.2~0.3mとする。

締固め作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	締固め度 期待値	機械名	規格	単位	数量
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	m <sup>3</sup>	100
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	55
	路体・ 築堤並	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	〃	120
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	70

(3) 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

機械補助労務

(100m<sup>3</sup>当たり)

名称	単位	労務
普通作業員	人	0.3

(4) 単価表 [略]

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

1-4 路盤工 } [略]  
1-5 安定処理 }

## 第2 舗装工

2-1 路盤工(舗装工) } [略]  
2-2 アスファルト舗装工 }

## 2-3 コンクリート路面工

(1) 人力舗設歩掛

(100㎡当たり)

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
生コンクリート		m <sup>3</sup>		割増率4%
世 話 役		人	0.22	
特 殊 作 業 員		〃	2.56	
普 通 作 業 員		〃	3.89	
諸 雑 費		%	5.0	労務費の5%

備考 [略]

(2) 路盤紙敷設歩掛 } [略]  
(3) 溶接金網敷設歩掛 }

2-4 (参考歩掛) セメント安定処理工 [略]

## 第3 道路付属施設 [略]

## 第4 橋梁工

4-1 鋼橋架設工  
(1) 適用範囲 } [略]  
(13) 足場工、防護工及び登り棧橋工 }

(14) 鋼橋床版工

本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

1-4 路盤工 } [略]  
1-5 安定処理 }

## 第2 舗装工

2-1 路盤工(舗装工) } [略]  
2-2 アスファルト舗装工 }

## 2-3 コンクリート路面工

(1) 人力舗設歩掛

(100㎡当たり)

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
生コンクリート		m <sup>3</sup>		割増率4%
世 話 役		人	0.2	
特 殊 作 業 員		〃	2.3	
普 通 作 業 員		〃	3.5	
諸 雑 費		%	5.0	労務費の5%

備考 [略]

(2) 路盤紙敷設歩掛 } [略]  
(3) 溶接金網敷設歩掛 }

2-4 (参考歩掛) セメント安定処理工 [略]

## 第3 道路付属施設 [略]

## 第4 橋梁工

4-1 鋼橋架設工  
(1) 適用範囲 } [略]  
(13) 足場工、防護工及び登り棧橋工 }

(14) 鋼橋床版工

本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

- 1) 足場工及び防護工 } [略]  
 4) コンクリート工 }  
 5) 養生工

養生工歩掛

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	償却率
普通作業員		人	1.78	
養生マット		㎡	110	25%

備考 [略]

- (15) グレーチング床版架設工及び足場工 } [略]  
 (16) 単価表及び内訳表

## 4-2 PC桁架設工

- (1) 適用範囲 } [略]  
 (4) 架設桁による架設 }

- (5) 横組工  
 横組工とは横桁中埋めコンクリート、間詰床版及び横締の一連の作業で、その内訳は次のとおりである。  
 [図、略]

1) 鉄筋工 [略]

2) コンクリート工

ア 打設工法

イ コンクリートポンプ車の規格 } [略]

ウ コンクリート工歩掛

型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表とする。

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

- 1) 足場工及び防護工 } [略]  
 4) コンクリート工 }  
 5) 養生工

養生工歩掛

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	償却率
普通作業員		人	1.6	
養生マット		㎡	110	25%

備考 [略]

- (15) グレーチング床版架設工及び足場工 } [略]  
 (16) 単価表及び内訳表

## 4-2 PC桁架設工

- (1) 適用範囲 } [略]  
 (4) 架設桁による架設 }

- (5) 横組工  
 横組工とは横桁中埋めコンクリート、間詰床版及び横締の一連の作業で、その内訳は次のとおりである。  
 [図、略]

1) 鉄筋工 [略]

2) コンクリート工

ア 打設工法

イ コンクリートポンプ車の規格 } [略]

ウ コンクリート工歩掛

型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表とする。

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

コンクリート工歩掛 (10m<sup>3</sup>当たり)

桁区分	労務(人)				諸雑費率 (%)
	橋梁 世話役	特殊 作業員	型枠工	普通 作業員	
プレテンションT桁、 ポストテンション桁	3.78	1.78	13.5	13.33(11.00)	8(7)
プレテンション床版桁	0.89	1.78	2.5	6.00(3.67)	12(6)

備考 1 コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m<sup>3</sup>当たり1.67時間とする。

2 }  
4 }  
5 }  
6 }  
7 }

1日当たり打設量は、36m<sup>3</sup>を標準とする。

エ コンクリート使用量 [略]

3) PC工 }  
6) 単価表、内訳表 } [略]

(6) 支承工 }  
(8) 機械器具損料 } [略]

4-3 落橋防止装置工 [略]

## 第5 用地造成

## 5-1 用地造成歩掛表

(1) 適用範囲 }  
(2) 機種の選定 } [略]

(3) ブルドーザ  
1) 掘削押土作業 [略]

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

コンクリート工歩掛 (10m<sup>3</sup>当たり)

桁区分	労務(人)				諸雑費率 (%)
	橋梁 世話役	特殊 作業員	型枠工	普通 作業員	
プレテンションT桁、 ポストテンション桁	3.4	1.6	13.5	12.0(9.9)	8(7)
プレテンション床版桁	0.8	1.6	2.5	5.4(3.3)	12(6)

備考 1 コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m<sup>3</sup>当たり1.5時間とする。

2 }  
4 }  
5 }  
6 }  
7 }

1日当たり打設量は、40m<sup>3</sup>を標準とする。

エ コンクリート使用量 [略]

3) PC工 }  
6) 単価表、内訳表 } [略]

(6) 支承工 }  
(8) 機械器具損料 } [略]

4-3 落橋防止装置工 [略]

## 第5 用地造成

## 5-1 用地造成歩掛表

(1) 適用範囲 }  
(2) 機種の選定 } [略]

(3) ブルドーザ  
1) 掘削押土作業 [略]

## 被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛

## 2) 敷均し・締固め作業

工種	標準機械		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m <sup>3</sup> /h)	A (m <sup>2</sup> )
	機械名	規格							
敷均し	ブルドーザ	11t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>61</u>	—
		15t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>70</u>	—
		21t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>99</u>	—
締固め	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>79</u>	<u>265</u>
		15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>91</u>	<u>302</u>
		21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>128</u>	<u>425</u>

備考 1 [略]

備考 2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。

11t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.9 \times 10E (11D + 8) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

15t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.9 \times 10E (13D + 9) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

21t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.9 \times 10E (18D + 13) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

ここで

Q : 1時間当たり敷均し土量(m<sup>3</sup>/h)

締固め後の状態の土量をいう。

D : 仕上がり厚さ(m)

締固め後の状態の厚さをいう。

E : 作業効率 [表、略]

備考 3 敷均し補助労務は、Qに対して次表により計上する。

(人/100m<sup>3</sup>)

作業	普通作業員
敷均し	<u>0.22</u>

備考 4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。  
作業量を締固め土量(m<sup>3</sup>/h)で表す場合

$$Q = 0.9 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \text{ (m}^3\text{/h)}$$

作業量を締固め面積(m<sup>2</sup>/h)で表す場合

$$A = 0.9 \times \frac{V \times W \times E}{N} \text{ (m}^2\text{/h)}$$

ここで

Q : 運転1時間当たり作業量(m<sup>3</sup>/h)A : " 作業面積(m<sup>2</sup>/h)

V : 締固め速度(m/h)

W : 1回の有効締固め幅(m)

## 現 行 (森林整備保全事業標準歩掛)

## 2) 敷均し・締固め作業

工種	標準機械		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m <sup>3</sup> /h)	A (m <sup>2</sup> )
	機械名	規格							
敷均し	ブルドーザ	11t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>68</u>	—
		15t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>77</u>	—
		21t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>110</u>	—
締固め	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>88</u>	<u>294</u>
		15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>101</u>	<u>336</u>
		21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>142</u>	<u>473</u>

備考 1 [略]

備考 2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。

11t級ブルドーザの場合

$$Q = 10E (11D + 8) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

15t級ブルドーザの場合

$$Q = 10E (13D + 9) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

21t級ブルドーザの場合

$$Q = 10E (18D + 13) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

ここで

Q : 1時間当たり敷均し土量(m<sup>3</sup>/h)

締固め後の状態の土量をいう。

D : 仕上がり厚さ(m)

締固め後の状態の厚さをいう。

E : 作業効率 [表、略]

備考 3 敷均し補助労務は、Qに対して次表により計上する。

(人/100m<sup>3</sup>)

作業	普通作業員
敷均し	<u>0.2</u>

備考 4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。  
作業量を締固め土量(m<sup>3</sup>/h)で表す場合

$$Q = \frac{V \times W \times D \times E}{N} \text{ (m}^3\text{/h)}$$

作業量を締固め面積(m<sup>2</sup>/h)で表す場合

$$A = \frac{V \times W \times E}{N} \text{ (m}^2\text{/h)}$$

ここで

Q : 運転1時間当たり作業量(m<sup>3</sup>/h)A : " 作業面積(m<sup>2</sup>/h)

V : 締固め速度(m/h)

W : 1回の有効締固め幅(m)



## 森林整備保全事業標準歩掛 制定項目一覧表

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
<b>第1編 共通工</b>	<b>第1編 共通工</b>					
<b>第1 土工</b>	<b>第1 土工</b>					
1-1 土質の分類	1-1 土質の分類					
1-2 伐開・除根	1-2 伐開・除根					
1-2-1 伐開・除根	1-2-1 伐開・除根					
1-2-2 根切・積込	1-2-2 根切・積込					
1-3 人力切崩し・掘削・積込及び盛土	1-3 人力切崩し・掘削・積込及び盛土					
1-4 埋戻工	1-4 埋戻工					
1-5 機械法面整形	1-5 機械法面整形					
1-5-1 切土法面整形歩掛	1-5-1 切土法面整形歩掛					
1-5-2 盛土法面整形歩掛（削り取り整形）	1-5-2 盛土法面整形歩掛（削り取り整形）					
1-5-3 機械による築立（土羽）整形	1-5-3 機械による築立（土羽）整形					
1-6 人力法面整形	1-6 人力法面整形					
1-6-1 人力による切土整形歩掛	1-6-1 人力による切土整形歩掛					
1-6-2 人力による築立（土羽）整形歩掛	1-6-2 人力による築立（土羽）整形歩掛					
1-7 構造物取りこわし工	1-7 構造物取りこわし工					
1-7-1 コンクリート構造物取りこわし工	1-7-1 コンクリート構造物取りこわし工					
1-7-2 （参考歩掛）吹付法面とりこわし工	1-7-2 （参考歩掛）吹付法面とりこわし工					
1-7-3 舗装版破碎工	1-7-3 舗装版破碎工					
1-8 （参考歩掛）骨材再生工（自走式）	1-8 （参考歩掛）骨材再生工（自走式）					
<b>第2 運搬工</b>	<b>第2 運搬工</b>					
2-1 運搬方法	2-1 運搬方法					
2-2 人力運搬	2-2 人力運搬					
2-2-1 人肩運搬歩掛	2-2-1 人肩運搬歩掛					
2-2-2 小車運搬歩掛	2-2-2 小車運搬歩掛					
2-2-3 テーラー運搬歩掛	2-2-3 テーラー運搬歩掛					
2-3 不整地運搬車運搬	2-3 不整地運搬車運搬					
2-3-1 小型不整地運搬車運搬	2-3-1 小型不整地運搬車運搬					
2-3-2 不整地運搬車運搬	2-3-2 不整地運搬車運搬					
2-4 ベルトコンベア運搬	2-4 ベルトコンベア運搬					
2-5 モノレール運搬	2-5 モノレール運搬					
2-6 （参考歩掛）タワー運搬	2-6 （参考歩掛）タワー運搬					
2-7 ケーブルクレーン運搬	2-7 ケーブルクレーン運搬					
2-8 ダンプトラック運搬	2-8 ダンプトラック運搬					
2-9 貨物自動車運搬	2-9 貨物自動車運搬					
2-9-1 貨物自動車の運賃料金	2-9-1 貨物自動車の運賃料金					
2-9-2 貨物自動車標準積載量	2-9-2 貨物自動車標準積載量					
2-10 ヘリコプターによる資材運搬	2-10 ヘリコプターによる資材運搬					
<b>第3 コンクリート工</b>	<b>第3 コンクリート工</b>					
3-1 コンクリート工	3-1 コンクリート工					
3-1-1 適用範囲	3-1-1 適用範囲					
3-1-2 コンクリート打設工法の選定	3-1-2 コンクリート打設工法の選定					
3-1-3 材料の使用量	3-1-3 材料の使用量					
3-1-4 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設	3-1-4 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設		○			
3-1-5 無筋・鉄筋構造物人力打設	3-1-5 無筋・鉄筋構造物人力打設		○			
3-1-6 小型構造物クレーン打設	3-1-6 小型構造物クレーン打設		○			
3-1-7 小型構造物人力打設	3-1-7 小型構造物人力打設		○			

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
3-1-8 養生工	3-1-8 養生工	○				
3-1-9 養生工(特殊養生)	3-1-9 養生工(特殊養生)	○				
3-1-10 単価表	3-1-10 単価表					
3-2 型枠工	3-2 型枠工					
3-2-1 適用範囲	3-2-1 適用範囲					
3-2-2 施工概要	3-2-2 施工概要					
3-2-3 施工歩掛	3-2-3 施工歩掛					
3-3 モルタル工	3-3 モルタル工					
3-4 鉄筋工	3-4 鉄筋工					
<b>第4 共通工(1)(溝渠工・法枠工)</b>	<b>第4 共通工(1)(溝渠工・法枠工)</b>					
4-1 溝渠工(水路工)	4-1 溝渠工(水路工)					
4-1-1 適用範囲	4-1-1 適用範囲					
4-1-2 施工概要	4-1-2 施工概要					
4-1-3 機種の種類	4-1-3 機種の種類					
4-1-4 U型側溝等	4-1-4 U型側溝等					
4-1-5 L型側溝	4-1-5 L型側溝					
4-1-6 ヒューム管	4-1-6 ヒューム管	○				
4-1-7 ボックスカルパート	4-1-7 ボックスカルパート					
4-1-8 集水樹	4-1-8 集水樹					
4-1-9 コルゲートパイプ	4-1-9 コルゲートパイプ					
4-1-10 暗きょ排水管(硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管)	4-1-10 暗きょ排水管(硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管)					
4-1-11 コルゲートフリユーム	4-1-11 コルゲートフリユーム					
4-1-12 鉄筋コンクリート台付管	4-1-12 鉄筋コンクリート台付管					
4-1-13 水路工	4-1-13 水路工					
4-1-14 単価表	4-1-14 単価表					
4-2 法枠工	4-2 法枠工					
4-2-1 プレキャスト法枠工	4-2-1 プレキャスト法枠工					
4-2-2 プレキャスト法枠工	4-2-2 プレキャスト法枠工					
4-2-3 現場打法枠工	4-2-3 現場打法枠工	○				
4-2-4 簡易法枠工	4-2-4 簡易法枠工					
4-2-5 簡易法枠工(円形ゴム製型枠式)	4-2-5 簡易法枠工(円形ゴム製型枠式)					
4-2-6 (参考歩掛)現場吹付法枠工	4-2-6 (参考歩掛)現場吹付法枠工					
4-3 モルタル・コンクリート吹付工	4-3 モルタル・コンクリート吹付工					
4-3-1 留意事項	4-3-1 留意事項					
4-3-2 モルタル吹付工	4-3-2 モルタル吹付工					
4-3-3 コンクリート吹付工	4-3-3 コンクリート吹付工					
4-3-4 特殊配合モルタル吹付工A	4-3-4 特殊配合モルタル吹付工A					
4-3-5 特殊配合モルタル吹付工B	4-3-5 特殊配合モルタル吹付工B					
4-3-6 特殊配合モルタル吹付工C	4-3-6 特殊配合モルタル吹付工C					
4-4 植生基材吹付工	4-4 植生基材吹付工					
4-4-1 植生基材吹付工・特殊植生基材吹付工	4-4-1 植生基材吹付工・特殊植生基材吹付工					
4-4-2 客土吹付工・特殊植生基材客土吹付工	4-4-2 客土吹付工・特殊植生基材客土吹付工					
4-4-3 客土吹付特殊工	4-4-3 客土吹付特殊工					
4-5 種子吹付工	4-5 種子吹付工					
4-6 植生ネット工	4-6 植生ネット工					
4-7 植生工	4-7 植生工					
4-7-1 種子帯及び筋芝工	4-7-1 種子帯及び筋芝工					
4-7-2 張芝工	4-7-2 張芝工					
4-7-3 耳芝工	4-7-3 耳芝工					

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
4-7-4 (参考歩掛) 人工張芝工	4-7-4 (参考歩掛) 人工張芝工					
4-7-4 (参考歩掛) 人工張芝工	4-7-4 (参考歩掛) 人工張芝工					
4-8 斜面安定工	4-8 斜面安定工					
4-8-1 鉄筋挿入工	4-8-1 鉄筋挿入工					
4-8-2 頭部連結併用工	4-8-2 頭部連結併用工					
<b>第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)</b>	<b>第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)</b>					
5-1 石材及び骨材の分類〔参考〕	5-1 石材及び骨材の分類〔参考〕					
5-2 石材採取歩掛	5-2 石材採取歩掛					
5-3 骨材等採取及び洗浄歩掛	5-3 骨材等採取及び洗浄歩掛					
5-4 石、巨石、コンクリートブロック積(張)工	5-4 石、巨石、コンクリートブロック積(張)工					
5-4-1 石積(張)工	5-4-1 石積(張)工	○				
5-4-2 巨石積(張)工	5-4-2 巨石積(張)工					
5-4-3 コンクリートブロック積(張)工	5-4-3 コンクリートブロック積(張)工	○				
5-5 基礎・裏込工	5-5 基礎・裏込工					
5-5-1 基礎・裏込採石工(機械施工)	5-5-1 基礎・裏込採石工(機械施工)					
5-5-2 基礎・裏込栗石工(機械施工)	5-5-2 基礎・裏込栗石工(機械施工)					
5-5-3 基礎・裏込・中詰(採石・栗石)工(人力施工)	5-5-3 基礎・裏込・中詰(採石・栗石)工(人力施工)					
5-6 鉄筋コンクリート片法砕工歩掛	5-6 鉄筋コンクリート片法砕工歩掛					
5-7 鋼製枠工	5-7 鋼製枠工					
5-8 鋼製落石防止柵・壁組立て歩掛	5-8 鋼製落石防止柵・壁組立て歩掛					
5-9 落石防護柵工	5-9 落石防護柵工					
5-9-1 落石防護柵(ストーンガード)設置工	5-9-1 落石防護柵(ストーンガード)設置工					
5-9-2 落石防止網(ロックネット)設置工	5-9-2 落石防止網(ロックネット)設置工					
5-9-3 鋼製落石防止柵工(直立式)	5-9-3 鋼製落石防止柵工(直立式)					
5-9-4 固定工(ロープ伏工)	5-9-4 固定工(ロープ伏工)					
5-9-5 高エネルギー吸収柵工	5-9-5 高エネルギー吸収柵工					
5-10 井桁ブロック土留工歩掛	5-10 井桁ブロック土留工歩掛					
5-11 エキスバンドメタル歩掛	5-11 エキスバンドメタル歩掛					
5-12 L型プレキャスト擁壁工	5-12 L型プレキャスト擁壁工					
5-13 擁壁工(補強土壁工)	5-13 擁壁工(補強土壁工)					
5-14 (参考歩掛) ジオテキスタイル工	5-14 (参考歩掛) ジオテキスタイル工					
5-15 コンクリート板土留工	5-15 コンクリート板土留工					
5-16 鋼製編柵(エキスバンドメタル編柵)工	5-16 鋼製編柵(エキスバンドメタル編柵)工					
5-17 かが工(B)	5-17 かが工(B)					
5-18 かが砕工	5-18 かが砕工					
5-19 大型ふとんかが工	5-19 大型ふとんかが工					
5-19-1 (参考歩掛) 大型ふとんかが工(A)	5-19-1 (参考歩掛) 大型ふとんかが工(A)					
5-19-2 (参考歩掛) 大型ふとんかが工(B)	5-19-2 (参考歩掛) 大型ふとんかが工(B)					
5-20 (参考歩掛) 石積(張)工	5-20 (参考歩掛) 石積(張)工					
5-20-1 空石積工歩掛	5-20-1 空石積工歩掛					
5-20-2 練石積工歩掛	5-20-2 練石積工歩掛					
5-20-3 空石張工歩掛	5-20-3 空石張工歩掛					
5-20-4 練石張工歩掛	5-20-4 練石張工歩掛					
5-21 (参考歩掛) 目地・止水版設置工	5-21 (参考歩掛) 目地・止水版設置工					
<b>第6 杭打工及び矢板打工</b>	<b>第6 杭打工及び矢板打工</b>					
6-1 杭打工	6-1 杭打工					
6-1-1 適用範囲	6-1-1 適用範囲					
6-1-2 人力杭打歩掛	6-1-2 人力杭打歩掛					
6-1-3 木杭仕拵歩掛	6-1-3 木杭仕拵歩掛					

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
6-1-4 モンケン杭打	6-1-4 モンケン杭打					
6-1-5 鋼管・既製コンクリート杭打工（パイロハンマ工）	6-1-5 鋼管・既製コンクリート杭打工（パイロハンマ工）					
6-1-6 鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）	6-1-6 鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）					
6-1-7 （参考歩掛）木杭打工（大型ブレーカ）	6-1-7 （参考歩掛）木杭打工（大型ブレーカ）					
6-2 矢板打工	6-2 矢板打工					
6-2-1 適用範囲	6-2-1 適用範囲					
6-2-2 モンケン矢板打歩掛	6-2-2 モンケン矢板打歩掛					
6-2-3 鋼矢板（H形鋼）工（パイロハンマ工）	6-2-3 鋼矢板（H形鋼）工（パイロハンマ工）					
6-2-4 鋼矢板（H形鋼）工（パイロハンマ工（継施工））	6-2-4 鋼矢板（H形鋼）工（パイロハンマ工（継施工））					
6-2-5 H形鋼矢板打工（H形鋼）	6-2-5 H形鋼矢板打工（H形鋼）					
6-2-6 コンクリート矢板工	6-2-6 コンクリート矢板工					
<b>第7 木製構造物工</b>	<b>第7 木製構造物工</b>					
7-1 土留工・擁壁工	7-1 土留工・擁壁工					
7-1-1 丸太積土留工（A）	7-1-1 丸太積土留工（A）					
7-1-2 丸太積土留工（B）	7-1-2 丸太積土留工（B）					
7-1-3 木製ブロック積工	7-1-3 木製ブロック積工					
7-1-4 L型木製土留工	7-1-4 L型木製土留工					
7-1-5 木製井桁積工	7-1-5 木製井桁積工					
7-2 法面保護工	7-2 法面保護工					
7-2-1 丸太法枠工（A）	7-2-1 丸太法枠工（A）					
7-2-2 丸太法枠工（B）	7-2-2 丸太法枠工（B）					
7-2-3 木製軽量法枠工	7-2-3 木製軽量法枠工					
7-2-4 （参考歩掛）丸太伏工	7-2-4 （参考歩掛）丸太伏工					
7-2-5 法尻保護工	7-2-5 法尻保護工					
7-3 柵工	7-3 柵工					
7-3-1 木柵工（A）	7-3-1 木柵工（A）					
7-3-2 木柵工（B）	7-3-2 木柵工（B）					
7-3-3 木柵工（C）	7-3-3 木柵工（C）					
7-3-4 木柵工（D）	7-3-4 木柵工（D）					
7-3-5 木柵工（E）	7-3-5 木柵工（E）					
7-3-6 帯梢編柵工	7-3-6 帯梢編柵工					
7-3-7 ネット柵工（金網柵工）	7-3-7 ネット柵工（金網柵工）					
7-3-8 編柵工	7-3-8 編柵工					
7-3-9 木柵工	7-3-9 木柵工					
7-3-10 パネル柵工	7-3-10 パネル柵工					
7-4 筋工	7-4 筋工					
7-4-1 丸太筋工	7-4-1 丸太筋工					
7-4-2 木製筋工	7-4-2 木製筋工					
7-5 防風工	7-5 防風工					
7-5-1 丸太防風柵工	7-5-1 丸太防風柵工					
7-6 静砂工・堆砂工	7-6 静砂工・堆砂工					
7-6-1 静砂垣・堆砂垣工	7-6-1 静砂垣・堆砂垣工					
7-7 路面・路盤工	7-7 路面・路盤工					
7-7-1 木製路面排水工	7-7-1 木製路面排水工					
7-7-2 （参考歩掛）木製カーブ設置工	7-7-2 （参考歩掛）木製カーブ設置工					
7-8 排水施設	7-8 排水施設					
7-8-1 木製溝渠呑口保護工	7-8-1 木製溝渠呑口保護工					
7-8-2 木製溝渠吐口保護工	7-8-2 木製溝渠吐口保護工					
7-9 標識工	7-9 標識工					

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
7-9-1 木製案内板工	7-9-1 木製案内板工					
7-9-2 木製標識工	7-9-2 木製標識工					
7-9-3 木製工事用看板枠工	7-9-3 木製工事用看板枠工					
7-10 型枠工	7-10 型枠工					
7-10-1 丸太残存型枠工（治山ダム用）	7-10-1 丸太残存型枠工（治山ダム用）					
7-10-2 丸太残存型枠工（土留・擁壁用）	7-10-2 丸太残存型枠工（土留・擁壁用）					
7-10-3 木製パネル式残存型枠工	7-10-3 木製パネル式残存型枠工					
7-10-4 まく板パネル型枠工	7-10-4 まく板パネル型枠工					
7-11 歩道工	7-11 歩道工					
7-11-1 丸太階段工	7-11-1 丸太階段工					
7-12 木製治山ダム工	7-12 木製治山ダム工					
7-13 落石防護工	7-13 落石防護工					
7-13-1 （参考歩掛）落石防止緩衝工	7-13-1 （参考歩掛）落石防止緩衝工					
<b>第8 仮設工</b>	<b>第8 仮設工</b>					
8-1 仮設資材損率表	8-1 仮設資材損率表					
8-2 土のう締切工	8-2 土のう締切工					
8-3 土俵、石俵拵及び積立	8-3 土俵、石俵拵及び積立					
8-4 水替工	8-4 水替工					
8-4-1 水替工	8-4-1 水替工					
8-4-2 水替工（小口径）	8-4-2 水替工（小口径）					
8-5 足場工	8-5 足場工					
8-6 キャットウォーク	8-6 キャットウォーク					
8-7 支保工	8-7 支保工					
8-8 （参考歩掛）仮囲い設置・撤去工	8-8 （参考歩掛）仮囲い設置・撤去工					
8-9 作業構台	8-9 作業構台					
8-10 大型土のう工	8-10 大型土のう工					
8-11 敷鉄板敷設・撤去工	8-11 敷鉄板敷設・撤去工					
<b>第9 市場単価</b>	<b>第9 市場単価</b>					
9-1 法面工	9-1 法面工					
9-2 吹付枠工	9-2 吹付枠工					
9-3 防護柵設置工	9-3 防護柵設置工					
9-4 道路付属施設	9-4 道路付属施設					

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
<b>第2編 治山</b>	<b>第2編 治山</b>					
<b>第1 山地治山土工</b>	<b>第1 山地治山土工</b>					
1-1 機械土工	1-1 機械土工					
1-1-1 適用基準	1-1-1 適用基準					
1-1-2 施工概要及び施工形態	1-1-2 施工概要及び施工形態					
1-1-3 掘削法及び機種の選定（土砂）	1-1-3 掘削法及び機種の選定（土砂）					
1-1-4 機械別土工歩掛	1-1-4 機械別土工歩掛	○				
1-1-5 片切掘削（人力併用機械掘削）	1-1-5 片切掘削（人力併用機械掘削）					
1-2 岩石工	1-2 岩石工					
1-2-1 掘削工法の選定	1-2-1 掘削工法の選定					
1-2-2 山地治山岩石工	1-2-2 山地治山岩石工					
1-2-3 一般の岩石工	1-2-3 一般の岩石工					
1-2-4 小規模岩石工	1-2-4 小規模岩石工					
1-3 掘削面整形	1-3 掘削面整形					
1-3-1 土砂掘削面整形歩掛	1-3-1 土砂掘削面整形歩掛					
1-3-2 岩盤掘削面整形歩掛	1-3-2 岩盤掘削面整形歩掛					
1-4 岩盤清掃歩掛	1-4 岩盤清掃歩掛					
<b>第2 治山ダム工</b>	<b>第2 治山ダム工</b>					
2-1 コンクリート工	2-1 コンクリート工					
2-1-1 適用範囲	2-1-1 適用範囲					
2-1-2 コンクリートの割増率	2-1-2 コンクリートの割増率					
2-1-3 投入打設工法の選定	2-1-3 投入打設工法の選定					
2-1-4 人力投入打設歩掛	2-1-4 人力投入打設歩掛					
2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛	2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛	○				
2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛	2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛	○				
2-1-7 コンクリート養生	2-1-7 コンクリート養生					
2-1-8 型枠工	2-1-8 型枠工					
2-2 打継面処理（テッピング）歩掛	2-2 打継面処理（テッピング）歩掛					
2-3 打継面清掃歩掛	2-3 打継面清掃歩掛					
2-4 止水版設置（塩化ビニール樹脂止水版）歩掛	2-4 止水版設置（塩化ビニール樹脂止水版）歩掛					
2-5 土工機械解体・組立	2-5 土工機械解体・組立					
2-6 鋼製ダム工歩掛	2-6 鋼製ダム工歩掛					
2-6-1 バットレス式鋼製ダム	2-6-1 バットレス式鋼製ダム					
2-6-2 （参考歩掛）スリットダム	2-6-2 （参考歩掛）スリットダム					
2-7 （参考歩掛）差し筋による水平打継面処理工	2-7 （参考歩掛）差し筋による水平打継面処理工					
2-8 （参考歩掛）現場混合コンクリート	2-8 （参考歩掛）現場混合コンクリート					
2-8-1 人力混合投入打設歩掛	2-8-1 人力混合投入打設歩掛					
2-8-2 機械混合	2-8-2 機械混合					
2-8-3 コンクリート材料の割増率	2-8-3 コンクリート材料の割増率					
<b>第3 山腹工</b>	<b>第3 山腹工</b>					
3-1 のり切工	3-1 のり切工					
3-1-1 人力のり切工	3-1-1 人力のり切工					
3-1-2 （参考歩掛）高所斜面掘削機によるのり切工	3-1-2 （参考歩掛）高所斜面掘削機によるのり切工					
3-2 かご工（A）	3-2 かご工（A）					
3-3 積苗工	3-3 積苗工					
3-4 筋工	3-4 筋工					
3-5 実播工	3-5 実播工					
3-6 航空実播工	3-6 航空実播工					
3-7 伏工	3-7 伏工					

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
3-8 階段切付	3-8 階段切付					
3-9 階段間法面仕上げ歩掛	3-9 階段間法面仕上げ歩掛					
3-10 斜面整地歩掛	3-10 斜面整地歩掛					
3-11 階段掘起歩掛	3-11 階段掘起歩掛					
3-12 溝切付歩掛	3-12 溝切付歩掛					
3-13 材料採取	3-13 材料採取					
<b>第4 地すべり防止工</b>	<b>第4 地すべり防止工</b>					
4-1 小口径ボーリング	4-1 小口径ボーリング					
4-2 中口径ボーリング	4-2 中口径ボーリング					
4-3 大口径ボーリング	4-3 大口径ボーリング					
4-4 集水井工	4-4 集水井工					
4-4-1 集水井工（ライナープレート土留工法）	4-4-1 集水井工（ライナープレート土留工法）					
4-4-2 集水井工（プレキャスト土留工法）	4-4-2 集水井工（プレキャスト土留工法）					
4-5 アンカー工	4-5 アンカー工					
4-6 集排水ボーリング孔洗浄工	4-6 集排水ボーリング孔洗浄工					
4-7 ボーリング工（ロータリーパーカッション式）	4-7 ボーリング工（ロータリーパーカッション式）					
4-8 アンカー工（ロータリーパーカッション式）	4-8 アンカー工（ロータリーパーカッション式）					
4-9 （参考歩掛）ダウンザホールハンマ工	4-9 （参考歩掛）ダウンザホールハンマ工					
<b>第5 森林整備</b>	<b>第5 森林整備</b>					
5-1 森林整備	5-1 森林整備					
5-1-1 植栽（A）	5-1-1 植栽（A）					
5-1-2 植栽（B）	5-1-2 植栽（B）					
5-1-3 植栽（C）	5-1-3 植栽（C）					
5-1-4 地拵え等	5-1-4 地拵え等					
5-1-5 客土歩掛	5-1-5 客土歩掛					
5-1-6 仮植歩掛	5-1-6 仮植歩掛					
5-1-7 施肥歩掛	5-1-7 施肥歩掛					
5-1-8 苗木運搬歩掛	5-1-8 苗木運搬歩掛					
5-1-9 下刈歩掛（全刈り（1回刈り））	5-1-9 下刈歩掛（全刈り（1回刈り））					
5-1-10 （参考歩掛）本数調整伐	5-1-10 （参考歩掛）本数調整伐					
5-2 支柱工	5-2 支柱工					
5-3 管理歩道作設工	5-3 管理歩道作設工					
5-4 なだれ防止柵設置工	5-4 なだれ防止柵設置工					
5-4-1 なだれ防止柵設置工	5-4-1 なだれ防止柵設置工					
5-4-2 （参考歩掛）なだれ予防柵設置工	5-4-2 （参考歩掛）なだれ予防柵設置工					
<b>第6 海岸林造成</b>	<b>第6 海岸林造成</b>					
6-1 （参考歩掛）生育基盤盛土工	6-1 （参考歩掛）生育基盤盛土工					
6-2 海岸植栽	6-2 海岸植栽					
6-3 コンクリート根固ブロック工	6-3 コンクリート根固ブロック工					
6-3-1 適用範囲と施工概要	6-3-1 適用範囲と施工概要					
6-3-2 製作	6-3-2 製作					
6-3-3 コンクリート工	6-3-3 コンクリート工		○			
6-3-4 諸雑費	6-3-4 諸雑費					
6-3-5 施工	6-3-5 施工					
6-3-6 トラック等の運搬施工歩掛	6-3-6 トラック等の運搬施工歩掛					
6-3-7 単価表	6-3-7 単価表					

制 定 案	現 行	種別				備考
		制定	条項 移動	条項 新設	条項 削除	
<b>第3編 林道</b>	<b>第3編 林道</b>					
<b>第1 道路土工</b>	<b>第1 道路土工</b>					
1-1 盛土の分類	1-1 盛土の分類					
1-2 機械掘削及び積込	1-2 機械掘削及び積込	○				
1-3 盛土	1-3 盛土					
1-3-1 機械盛土	1-3-1 機械盛土	○				
1-3-2 標準機種では困難な場合の機械盛土	1-3-2 標準機種では困難な場合の機械盛土	○				
1-4 路盤工	1-4 路盤工					
1-4-1 人力路盤工	1-4-1 人力路盤工					
1-4-2 機械路盤工	1-4-2 機械路盤工					
1-4-3 材料使用量	1-4-3 材料使用量					
1-5 安定処理	1-5 安定処理					
1-5-1 安定処理工（スタビライザ混合）	1-5-1 安定処理工（スタビライザ混合）					
1-5-2 安定処理工（バックホウ混合）	1-5-2 安定処理工（バックホウ混合）					
<b>第2 舗装工</b>	<b>第2 舗装工</b>					
2-1 路盤工（舗装工）	2-1 路盤工（舗装工）					
2-2 アスファルト舗装工	2-2 アスファルト舗装工					
2-3 コンクリート路面工	2-3 コンクリート路面工					
2-4 （参考歩掛）セメント安定処理工	2-4 （参考歩掛）セメント安定処理工					
<b>第3 道路付属施設</b>	<b>第3 道路付属施設</b>					
3-1 道路付属施設工	3-1 道路付属施設工					
3-1-1 留意事項	3-1-1 留意事項					
3-1-2 ガードケーブル設置工	3-1-2 ガードケーブル設置工					
3-1-3 （参考歩掛）ガードケーブル設置工歩掛	3-1-3 （参考歩掛）ガードケーブル設置工歩掛					
3-1-4 （参考歩掛）標識設置工	3-1-4 （参考歩掛）標識設置工					
3-1-5 （参考歩掛）片持式（オーバーハング式）〔F型、逆L型、T型、テーパーポール型〕の設置	3-1-5 （参考歩掛）片持式（オーバーハング式）〔F型、逆L型、T型、テーパーポール型〕の設置					
3-1-6 （参考歩掛）視線誘導標	3-1-6 （参考歩掛）視線誘導標					
3-1-7 （参考歩掛）境界杭設置（撤去）歩掛	3-1-7 （参考歩掛）境界杭設置（撤去）歩掛					
3-1-8 距離標設置（撤去）歩掛	3-1-8 距離標設置（撤去）歩掛					
3-1-9 （参考歩掛）区画線工	3-1-9 （参考歩掛）区画線工					
<b>第4 橋梁工</b>	<b>第4 橋梁工</b>					
4-1 鋼橋架設工	4-1 鋼橋架設工	○				
4-2 PC桁架設工	4-2 PC桁架設工	○				
4-3 落橋防止装置工	4-3 落橋防止装置工					
<b>第5 用地造成</b>	<b>第5 用地造成</b>					
5-1 用地造成歩掛表	5-1 用地造成歩掛表	○				
<b>【参考】</b>	<b>【参考】</b>					
<b>第1 機械運転単価表</b>	<b>第1 機械運転単価表</b>					
<b>第2 標準工期</b>	<b>第2 標準工期</b>					
<b>第3 コンクリートの標準強度</b>	<b>第3 コンクリートの標準強度</b>					
<b>第4 移動式クレーンの規格別作業能力表</b>	<b>第4 移動式クレーンの規格別作業能力表</b>					